

【音楽科・中1「曲想やパートの役割を生かして音楽表現を工夫しよう」】①

育成を目指す資質・能力

- 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。（知識及び技能）
- 強弱、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。（思考力、判断力、表現力等）
- 強弱、テクスチャ、構成が生み出す曲想に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、混声三部合唱の響きに親しむ。（学びに向かう力、人間性等）

ICT活用のポイント

学習支援ソフトを活用し、楽譜に工夫したい点を書き込み共有する / 録音・録画機能を活用し、課題解決を促す

前時までの学びを振り返り
本時のめあてをつかむ

めあて：曲のイメージをもとに、三つ目の
場面の歌唱表現を創意工夫しよう

曲のイメージを基にどのように表現を
工夫していきたいか個人で考える。

思いや意図に合った表現にするため
に、強弱、テクスチャと関連付けな
がら音楽表現を探る。

学習のまとめをし、
本時の学びを振り返る。

事例の概要 教材曲：混声三部合唱「COSMOS」

強弱、テクスチャと関連付けながら協働的に音楽表現を探る活動を通して、思いや意図を基に音楽表現を創意工夫することができるようにする。

【事例におけるICT活用の場面①】

- 強弱、テクスチャに着目し、創意工夫する箇所を**端末上の楽譜に書き込む**。

【事例におけるICT活用の場面②】

- 学習支援ソフトで画面を共有**し、互いの考えを伝え合いながらグループで歌唱表現を工夫する。
- グループで**試した部分を録音・録画**し、課題解決に向かって工夫できたか確かめる。

【事例におけるICT活用の場面③】

- 学習のまとめとして**全体で合唱し、録音・録画**する。

【音楽科・中1「曲想やパートの役割を生かして音楽表現を工夫しよう」②】

【事例におけるICT活用の場面①】

同じ歌詞が繰り返されるから、強弱を変えて歌ってみたらどうだろう？



端末上の楽譜に、工夫したい内容を記入する。

最後はささやくように優しく歌ってみたい。

表現したい思いや意図をもつ

課題解決する場面の楽譜を抜粋し、端末上で配付した。思考・判断のよりどころとなる音楽を形づくっている要素「強弱」「テクスチャ」に着目しやすいよう、教師からのヒントも書き示してある。

言葉だけではなく、図や音楽記号を書き込むことができ、個人の思考を自由に表現することが可能である。

【事例におけるICT活用の場面②】

みんなの考えを比べてみたら、最後の部分の工夫が似ている。この歌い方を試してみたいな。



デクレッシェンドの記号を付けている人もいるね。

個人で考えた工夫を学習支援ソフトで共有し、グループで表現を追求する。試した部分を端末で録音し確かめる。



録音して聴いてみたら少しイメージと違った。

もう一度歌って試してみよう！

他者と協働しながら歌唱表現を創意工夫する

端末上で全員の楽譜を見られるため、友達のと考えを比べながら協働的に課題解決する姿が見られた。部分的に楽譜を拡大することができるので、ポイントを絞って話し合うことも可能である。試した工夫はすぐに端末の録音・録画機能で確認できるので、試行錯誤する時間を確保できる。

【事例におけるICT活用の場面③】

強弱やパートの重なりを工夫してみてもう一度試してみたいか？



全体合唱を録画したものを視聴し、本時の学びを振り返る。

【生徒の振り返り】 ※端末上に記録強弱を意識しながら歌うと、歌詞も伝わるし曲の雰囲気もよくなってきた！パートごとに旋律が変化するところは、次回もう一度合わせて試してみたい。

学習の成果を振り返り表現の高まりを実感する

全体で工夫点を共有し試した後、合唱を録画・視聴し本時の学びを振り返った。音楽を形づくっている要素の働きに着目しながら成果を価値付け、クラス全体で表現の高まりを実感することができた。録音・録画したものを蓄積し、比較するなどの工夫もできるため、学びを調整し次時への見通しをもつことにもつながる。

【活用したソフトや機能】

○学習支援ソフト ○録音・録画機能